



■嬉しいニュース



去る4月27、28日イタリアのターラントで、イアン会長主催の平和会議（母子の健康）が開催されました。その席で偶然、財団学友（2006～2008年）の澤屋奈津子さんにお会いしました。彼女は2760地区名古屋大須ロータリークラブをスポンサーに持つ、活発な女性活動家です。現在はアフリカのニジェールに住み、現地で仕事に励まれています。彼女とは、昨年アトランタ大会で名刺交換をして我が地区出身と知り、親近感を覚え家内と3人で30分くらいお喋りをしたので、今回の再会は3人で抱き合って喜びました。しかし、平和フェローなど海外で働く学友の中には精神的に病む者、就職先が決まらない者など、新たな課題となっています。社会に出てからも彼等と連絡を取り合い相談相手となって、彼等の志を頓挫させないようにしたいものです。

国際ロータリー 理事 斎藤直美

■ロータリーの評価は毎日の行動

ロータリアンは、ロータリーをどのように思い、感じて、どう行動していきたいのでしょうか。もちろん人それぞれ思いも違いますし、行動していきたい内容も異なります。しかしロータリアン以外の人はクラブもロータリアンも同質とみえています。全体像がいわゆるロータリーの中核的価値観に合致すれば公共イメージと認知度につながります。自分たちの土俵であるロータリーを良くすることは自分自身をさらに高めることができます。それにはロータリーを学ぶことです。日常生活において、物事に興味をもって取り組むと、さらに楽しめることが多いことと同じだと思います。

公共イメージと認知度の向上は、いわゆるブランディングであります。ロータリアンに気づくいろんな伝統・行事があります。古い歴史がありますが、その時代時代において人々が引き継ぎ、さらに良いものに変えてきたものが残っているわけです。今世紀に増加しているボランティア団体の中に、ロータリークラブが存在しているその重要性、良さを実感できるためには、一人一人がどうロータリークラブに貢献できるか、仲間と楽しめるかを考えていくことだと思います。そして、ロータリーが他の人から評価されるのは、ロータリアン個々の毎日の行動や発言によるものが大であると自覚することが必要であると私は思います

第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中正規



■なぜ、公共イメージの向上が必要か

「ロータリーはこの14年間、会員が増えていない。クラブ数は15%増えているがバケツから水が漏れている状態だ」これは私がこの3月に参加したイベントの研修であるモデレーターから聴いた言葉である。RIの危機感をひしひしと感じた。多額の費用をかけたアンケートの結果、ロータリーを知る人が意外と少なく、また知っているてもその活動についてほとんど知られていなかった。改めて今「ロータリーとは何か」「ほかの団体とどう違うのか」「なぜロータリーが必要なのか」が私たちロータリアンに一人ひとりに問われている。

2011年にRIはロータリーの公共イメージ向上を目的とした数年間の取り組みを開始した。その目的はロータリーに対する理解を促進すること、また現会員や入会見込者、寄付者、戦略パートナーのモチベーションを高め行動を促すことである。近年、戦略計画の1つの「公共イメージと認知度の向上」について「世界を変える行動人」キャンペーンが推進されている。

これは従来のロータリーと一般社会とのコミュニケーションのあり方を見直すもので長期的かつ「私たちが何者であるかを伝えるキャンペーン」である。具体的にはロータリーのアイデンティティ（ロータリーらしさ）を共通のビジュアルを用い、様々な活動の行動に焦点を当て、かつ「物語」（ストーリー）に仕立てて社会に発信しようというものである。クラブの活動・文化をストーリーにしてSNSなどで発信することで社会から共感を得る狙いがある。確かに人は物語から学び感動する。この点においてホームページの見直しも必要ではないか。そこに共感を呼ぶストーリーがあるか。写真1枚にも活動するロータリアンの姿が生き生きと映し出されているか。行動を呼びかけるものになっているかどうか。ご検討をお願いする次第である。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生好春

■公共イメージ向上につながる三つの基本

本年度第3ゾーンでは、各クラブと地区の公共イメージ向上につながる三つの基本的な活動の推進に取り組みました。一つはロータリー活動のマスメディアを通じた広報活動のルーティン化、二つ目は会員の「My Rotary」への登録率アップ、三つ目は「Rotary Club Central」への各クラブの入力と、活用率のアップでありました。二つ目と三つ目の目標は今期かなりの前進が見られましたが、広報活動は地区によっては進展が見られるものの、次年度は更なる新たな戦略が必要です。各地区リーダーの皆様のご協力を引き続き宜しくお願い致します。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄

■今年度スタート時のアンケートから

地区リーダーの皆さんは「魅力あるクラブ、個性的なクラブを目指すことがクラブの活性化に繋がり『退会防止』『会員増強』に効果を発揮する」とお考えでしたので、目的達成支援の為に地区別専任担当のARCの方々から、より具体的な情報ときめ細やかな施策を提供させて頂きました。地区・クラブの環境などの違いから画一的な支援では対応しきれないことを改めて感じ、専任担当制は効果があったのではと結果に期待しております。高島・伊藤・穴井ARCの地道なご努力とご協力に心より感謝申し上げます。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター 若林紀男

お陰様をもちまして地区ガバナーをはじめ、関係者の皆様のご協力により2017-18年度の国内3ゾーン合同のコーディネーターニュースは年度最終号（6月号）をお届けすることができました。2018-19年度も引き続き発行を予定していますのでよろしくお願い致します。地区において私どもコーディネーターがお役に立つことがあれば遠慮なくもよりのコーディネーターにお申し付け下さい。

編集担当 第1ゾーン ロータリーコーディネーター 酒井正人